

ASTRONOMY AND BUDDHISM

天文学と仏法を語る

Daisaku Ikeda

池田大作

Ronaldo Mourão

ロナウド・モウラン

ASTRONOMY AND BUDDHISM

天文学と仏法を語る

Daisaku Ikeda

池田大作

Ronaldo Mourão

ロナウド・モウラン

てんもんがく ふっぽう かた
天文学と仏法を語る

2009年5月3日 初版第1刷発行

2009年8月24日 初版第5刷発行

著者 いけだ だいさく
池田大作
ロナウド・モウラン

発行者 大島光明

発行所 株式会社 第三文明社
東京都新宿区新宿1-23-5
郵便番号 160-0022
電話番号 03(5269)7145 (営業代表)
03(5269)7154 (編集代表)
振替口座 00150-3-117823
URL <http://www.daisanbunmei.co.jp>

印刷所 凸版印刷株式会社
製本所 大口製本印刷株式会社

©IKEDA Daisaku / Ronaldo MOURÃO 2009
ISBN 978-4-476-05045-5

Printed in Japan

乱丁・落丁本はお取り替えいたします。ご面倒ですが、小社営業部宛お送りください。
送料は当方で負担いたします。



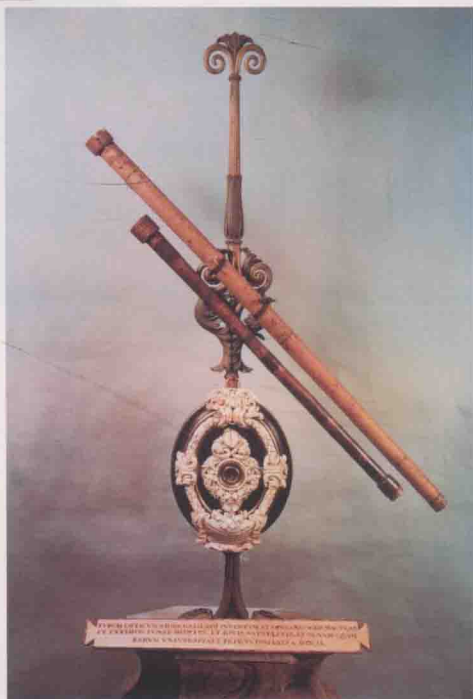
モウラン博士（左）と池田SGI会長

©Seikyo Shimbun



ガリレオ・ガリレイ
(オッタヴィオ・レオーニ画、1624年)

©PPS



ガリレオの木製望遠鏡
(フィレンツェ科学史博物館蔵)

©PPS

はじめに…………… 1

対談者紹介…………… 11

第1章 大宇宙との語らい

1 ロマンの天空を仰いで…………… 14

2 詩心の天文学——宇宙と人間の共鳴…………… 34

3 南十字星の輝き…………… 52

第2章 地球環境と宇宙の探究

1 天文学と国際協力…………… 70

2 宇宙時代の地球に生きる…………… 87

3 「地球観革命」「生命観革命」を……………	103
4 アマゾンの魅力とは……………	121
第3章 宇宙の不思議に迫る	

1 宇宙に「水の惑星」はあるのか……………	144
2 超新星と大宇宙のドラマ……………	161
3 宇宙は今、どこまでわかっているか……………	178
4 宇宙へのまなざし、人間へのまなざし……………	197

第4章 人類の「心の宇宙」の開拓を

1 子どもを幸福にする教育を求めて……………	218
------------------------	-----

2	活字文化の復興で人間愛の世界を……………	238
3	暴力の洪水に打ち勝つ精神の力を……………	258
4	共生と調和の世界へ……………	278

あとがき……………	298
-----------	-----

注……………	304
--------	-----

索引……………	333
---------	-----

「引用文について」編集部注はⅡの下に記した。読みやすくするため編集部でふりがなをつけた箇所もある。出典は二度目以降は（前掲「Ⅰ」）で示し、直後に連続して同じ出典を示す場合は（同前）と記した。

装幀／香月さよ子

本文レイアウト／凸版印刷TAN C

はじめに

一六〇九年、イタリアのパドヴァの街。来る日も来る日も、鉛なまりの筒つつの両端りょうたんにレンズを装着そうちやくした自作の望遠鏡ぼうえんきょうをのぞき込み、夜空の星々に目を凝こらす男がいた。初めて知る星々の世界に、驚おどろきの声をあげ、喜びに顔を輝かがやかせながら……。

月面には、くぼみがあった。木星には、衛星えいせいがあった。それは驚嘆きょうたんすべき、宇宙の実像であった。

そのガリレオ・ガリレイ*1が、宇宙と人間の対話の歴史に新たな扉とびらを開いて四百年——国連が「世界天文年てんもん」と定めたこの佳節かせつに、ブラジルが誇る天文学者ロナウド・モウラン博士と対談集を発刊できることは、このうえない喜びである。

現代天文学の宇宙像は、ガリレオの時代から大きく進展した。ニュートン*2からも、い

なアインシュタイン^{*3}からも大きく変貌^{へんぼう}し、次々と新しい知見^{ちけん}を加えている。それでも大宇宙は、今なお人類にとって神秘^{しんぴ}であり、いかに感嘆^{かんだん}しても感嘆^{かんだん}し尽くせぬロマンであり続けている。

しかし大宇宙の驚異^{きやうい}にもまして不可思議^{ふかしぎ}なのは、宇宙に対すれば微塵^{みじん}に等しい存在ながら、無限の時空^{じくくう}の果て^はまでも探究を広げゆく内なる人間精神ではあるまいか。

「宇宙とは何か」「人間とは何か」「生命とは何か」——おそらくは有史^{ゆうし}以来、人類の前に置かれ続けた、この大いなる問いをめぐって、ともに忌憚^{きたん}なく語り合える知性の巨人こそ、モウラン博士であった。

「何年、何十年という長い歳月をかけて」「自己の職業の一番難しい問題解決のために、わが身を鍛^{きた}えた人の中には、必ずといってよい程、総括^{そうかつてき}的な知識と極めて力強い知性を備^{そな}えた人が何人か出てくるものだ」(『ガリレオ裁判』ジヨルジヨ・ド・サンティリヤーナ著、武

ガリレオが語った、この言葉通りの真理探究の道を、モウラン博士は歩み抜いてこられた。その出発点となる「二重星」^{*4}に関する研究を發表後、『大衆の天文学』を發刊されたのは、首都ブラジリアが誕生した一九六〇年、二十五歳の時である。

それは奇しくも私が、わが師・戸田城聖先生の遺志を継いで、世界平和への願いを込めてブラジルを初訪問した年でもあった。

その後、モウラン青年はパリ大学^{*5}で博士号を取得され、母国ブラジルの国立天文観測所の主任天文学研究員、また天文学博物館の初代館長などを歴任してこられた。

博士の名「モウラン」を冠した小惑星も、天座をめぐっている。南米最古の文化機関・ブラジル歴史地理院^{*6}の正会員でもあり、「この六十年間でブラジルの歴史をつくった人物百三十人」に選ばれた、まさに現代ブラジルを代表する知性であられる。

その博士と初めてお会いしたのは、二〇〇五年の若葉光る東京の五月。七十歳の誕生日を迎えたばかりの博士は、豊かな銀髪の下に、宇宙を見つめ抜いてきた英知の目を生き生きと輝かせておられた。はるばるブラジルから、ブラジル歴史地理院の名誉外国会

員とブラジル哲学アカデミーの在外会員の称号を授与してくださるために、来日されたのであった。その日、懐かしき親友と再会したように意気投合し、天文学をめぐる「対話」を約し合ったのが、本書誕生のきっかけである。

「すべての問題は、人間から始まる。すべての解決も、人間からスタートする」

このモウラン博士の信念は、まさしく私も共有するところであり、本当に楽しく、しかも焦点の定まった対話を進めることができた。詩心・宇宙論・環境問題・教育なども多岐にわたって語り合ったが、どんなに専門的な内容に及んでも、生き生きとした人間味のある談論となった。これもひとえに、博士のご人格と、研究に加えて数多くの新聞や雑誌への寄稿など、多忙を極めるなか、この対話に力を注いでくださったご厚情の賜物と、私は感謝にたえない。

「宇宙の探究者」と「生命の探究者」——両者は一見、正反対の方向へ向かっているよ

うに見える。しかし、じつは、深い次元では同じ目的へ進んでいるのではないか。

語らいでは、天文学と仏法の共通点を認識し、互いに学び合うことができたと確信している。それは取りも直さず、宇宙と生命と人生を貫く法つらぬの探究であつたからだ。そして私たちは、「一人の人間の生命における変革が世界をも変える」という「人間革命」の理念において、深く一致したのである。

天文学にも造詣そうけいの深かつた師・戸田城聖先生は、よく言われていた。

「人間の活動も、宇宙のリズムある法則から免まぬかれることは絶対にできない。

その法則を、生命という次元から説き明かしたのが仏法である。

これがわかつてしまえば、『我即宇宙』であり『宇宙即我』ということになる」

この師の洞察とうさつの正しさを、対談を通して、私は、いよいよ強く確信している。

「宇宙は広大なり！」そして「人間の心もまた偉大なり！」——これが、本書の一つの結論といえるかもしれない。荒波を蹴けって大航海に躍り出た、古いにしえの人びとは、天座に

瞬^{またた}く北極星や南十字星^{*7}を指標^{しひょう}と仰ぎ見た。この対談集が、よりよき世界を目指して奮^{ふん}闘^{とう}する人びとにとって、何らかの人生の指標の星となれば幸いである。

結び^{むす}に私は、未来を担^{にな}う青年たちに、モウラン博士とともに、その名が小惑星にも冠^{かん}せられているドイツの大詩人シラー^{*8}の一節を贈りたい。

もろもろの太陽が

壮麗^{そうれい}な天空を飛びめぐっているように

兄弟たちよ、たのしく君たちの道をすすめ。

英雄^{えいゆう}のように喜ばしく勝利をめざせ。

〔喜びを歌う〕手塚富雄訳、相良守峯編、『ドイツ詩集』所収、角川文庫

二〇〇九年三月十六日

池田大作

天文学と仏法を語る………目次

はじめに…………… 1

対談者紹介…………… 11

第1章 大宇宙との語らい

1 ロマンの天空を仰いで…………… 14

2 詩心の天文学——宇宙と人間の共鳴…………… 34

3 南十字星の輝き…………… 52

第2章 地球環境と宇宙の探究

1 天文学と国際協力…………… 70

2 宇宙時代の地球に生きる…………… 87

3 「地球観革命」「生命観革命」を……………	103
4 アマゾンの魅力とは……………	121

第3章 宇宙の不思議に迫る

1 宇宙に「水の惑星」はあるのか……………	144
2 超新星と大宇宙のドラマ……………	161
3 宇宙は今、どこまでわかっているか……………	178
4 宇宙へのまなざし、人間へのまなざし……………	197

第4章 人類の「心の宇宙」の開拓を

1 子どもを幸福にする教育を求めて……………	218
------------------------	-----